

局員

大正十三年七月廿一日

技術研究所

土地 استخدام 件

豫て貴所へ供用中ノ品川第二防禦
區敷地ニ對シ航路標識管理所長ヨリ
別紙字ノ通申出有之ニ付テハ貴所ノ
御意見見系知致度

右照會

直ノ照會書並直書内諾
付ト魚云云多事考
別紙電次葉添

建 第六〇四號

海軍

模造半葉十二行野紙

中嶋

0177



局長

航工第二二六九号

照會

大正十三年七月二十日

航路標識管理所



局長

航路標識管理所長

海軍省建築局長殿

敷地借下ノ件

所管品川塔台敷地ハ明治五年四月畫省ヨリ永久
 免料使用兼認現在ニ到リ原是如左敷地ハ狹隘
 一為ノ日常不便不敷今回震災災復旧工事ト共ニ
 貯水槽増設ニ當リ益々狹隘ト相成候ニ付別紙
 圖面ノ通り増敷一〇〇坪永久免料使用致度御
 承認相成度候
 追テ本件ニ關シテハ塔台工事費當者ヨリ畫局
 へ方紙一巻内諾ヲ得タル趣キニ付爲念申添候

建第六〇四號

0178

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 columns, reading from right to left. The characters are in a cursive style (sōsho).

共第一號

0179

共第二號

航路標識管理所

航工第二六五六号 照會 大正十三年八月二十日

局長

局員

航路標識管理所長

海軍省建築局長殿

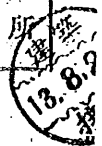
品川燈台敷地借入件

右三項之七月三十一日付航工第二二六九号ヲ以テ永久無料使
用承認方照會ノ如ク御回報無之處理上ノ都合モ有之何分
一回答相煩度矣

建第六〇四號 四

(大正十三年五月高津納)

0181



起案鄧紙

大正十三年九月六日

起案者
捺印

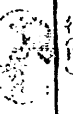


九月八日

發付掛
捺印



發付後起
案者捺印



(提案) 建築局長

局員

大臣

副官

次官



參事官

經理局長



第一課長



高木

軍務局長



第一課長



軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
							經理局 13.9.8.					九月八日	九月八日	受月日 發月日

大正十三年九月十日

大臣

土地繼續使用案件

號番

1050

0182

營第一四四八號御照會ノ從來使用承認セ
シ土地ハ都合有之候条別番朱線内ノ
箇所ニ移転シ左記条件ニ依リ使用相
成支障無之候尚実地ハ横須賀鎮守府
ヨリ受領相成度
右回答ス

記

- 一、使用承認ノ土地ハ神奈川県三浦郡田浦町池ノ谷戸別番朱線内ハ拾壹坪迄ハトス
- 二、使用期間ハ承認ノ日ヨリ向参箇年トス
- 三、使用期間中ト垂海軍ニ於テ必要アルトキハ移転又ハ撤去ヲ要求スルコトアルヘシ
- 四、敷地前面下水沿石垣ノ維持保存ニ関シ

テハ使用區域ハ使用者ノ負担トス

五、下水ニ蓋其ノ他加工スル場合ハ横須賀

海軍建築部ニ協議ノ上施行スルコト

六、第三項ノ場合及使用ヲ止メタルトキハ

逓信省ノ経費ヲ以テ建物及加工物ヲ撤

去シ原形ニ復シ返還ノコト

別紙ニ葉添

終

房第〇二二號ナシ

大正十三年九月拾八日發布

大正十三年九月十日

横鎮長官ハ

土地使用ノ件

本件ニ関シ別紙写ノ通達信大臣ノ照
 會ニ對シ官房第 辨ノ通及回
 答置候条所屬建築部長ヲシテ處
 理セシムヘシ
 右通達ス

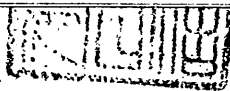
別紙 乙 葉添

(信大臣ノ回答添付ノ番通ハ本紙ニ
 添付ナラズ)

終

(綴文社印)

0185



陸軍局

營第一四四八號

大正十三年四月十一日

海軍大臣 村上格 一殿
遞信大臣 男爵 藤村義朗

田浦郵便局敷地繼續使用ニ關スル件

貴省用地神奈川縣三浦郡浦郷村大字船越字梅田所在百十七坪餘ハ當
省所屬同縣田浦郵便局敷地トシテ借入使用致來リ候處該使用期間ハ
本年三月十七日滿了ナルヲ以テ之カ移轉地相尋居候モ何分適當ノ場
所不見當ニ付更ニ同地ヲ向五箇年間從來ノ條件ニ依リ繼續使用致度
候間特ニ御承諾有之度及照會候也

官房第一〇二

遞信省 官房受



0186

軍務局一殿



附 箋 紙

大正十三年四月十一日
陸軍大臣 村上格 一殿
田浦郵便局敷地繼續使用ニ關スル件
官房第一〇二

遞信省

丁二日

義朗



ハ件

山所在百十七坪餘ハ當
不リ候處該使用期間ハ
守居候モ何分適當ノ場
ニ依リ繼續使用致度



軍務局一課

0186



紙箋附

大正13年8月26日

海軍省軍務局

建築局 申中

本件ハ別紙横鎮參謀長回答(横鎮
第七二〇号ノ四)ノ要領ニ依リ申取計ヲ
湯度



0187

十一日

義
朗

遞
信
省
受



軍
務
局
一
課

0186



附 箋 紙

大正十三年四月十一日

海軍省建築局

軍務局 第一課

車件、園、費、等、一、部、等、見、事、由、
等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、
等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、

0188

局長

横須賀

第一九五

大正十三年四月十一日

局長

横須賀海軍建築部長

海軍省建築局長殿

田浦郵便局敷地トシテ海軍用地使用ノ件

本件ハ大正八年六月官廳第一七八一號ノ二訓訓令ニ依リ本年三月十八日期間
 満了ノ處右敷地ハ工廠購買所敷地ニ充當致度見込ニ付若シ遞信省ヨリ繼續方
 協議ノ場合ハ貸與セサルコトニ概計相成度當工廠長ヨリノ希望ニ依リ
 右建ノ照會ス

(了)

建 第一九五

海

軍



0189

軍務局

横領第七二〇號ノ四

大正十三年八月廿五日

第一課

塩澤

寺岡横須賀鎮守府參謀長

小林海軍省軍務局長殿

田浦



田浦郵便局敷地繼續使用ノ件

本件ニ付五月軍第二〇八號ノ三ヲ以テ御照會ニ依リ地方遞信官署ト
内協議致候處結局別紙甲號田第二八八號附圖ノ場所希望ノ趣又關係
校廠ノ意向別紙乙號ノ通りニシテ當府ニ於テハ別紙兩號橫建第八號
ノ一九五ノ一一建築部長照會書條件ヲ附スルニ於テハ主管上差支ナ
キ見込ニ候
右回答ス

別紙關係書寫添付

軍第二〇八號ノ四

海軍

軍務局
第三八二六

0190



田茅二八八號

大正拾參年六月三十一日

田浦郵便局長

横須賀海軍建築部長殿

局舎敷地ノ件

注
 移転先指
 此地島ハ
 的著者著
 實地ノ新
 方ニ

甲号

右ノ圖ニ本月十日横建茅八號ノ一九五ノ四号請來照ニ趣
 了承然ニ移転先指是地島ハ何分ニモ國道ヨリ
 數千間入リ込ニ且地盤高ク坂路爲一般公衆ノ
 出入不便ニ付別依着面國道ニ沿ヒタル水溜學校
 北山寄り土壁ノ隅約五坪借用致度候條請
 承認相成度

右圖差々兼不及時依頼候

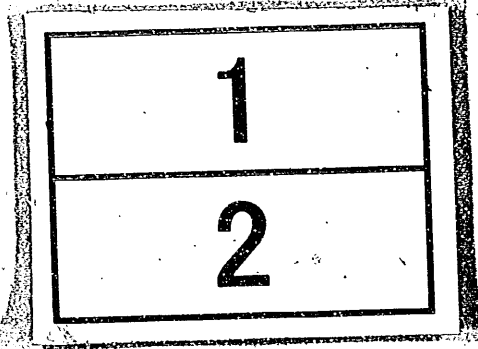
0191

迄テ從來共民有地ニ移転先ラ官所長ニ依頼シ
極力物色セシモ全然適當ノ佃所ナク大ニ困惑致シ居
ル次第ニハ右所田地ヲ貸借才特ニ許承認ヲ得度矣

横建第ノ號ノ九五ノ五

0192

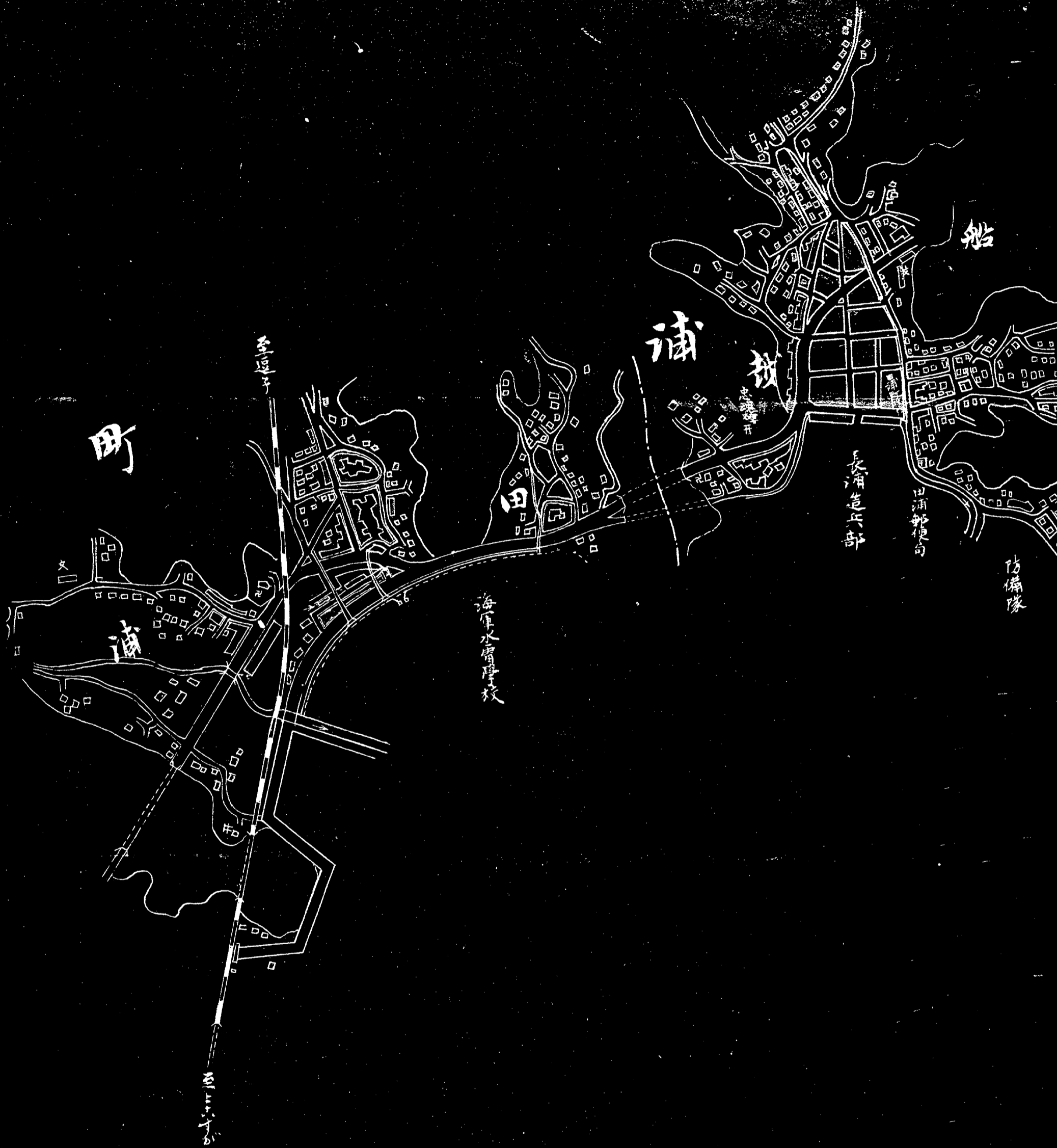
分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 版 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

平面圖



0193
0194





田第三四五号

大正十三年八月五日

神奈川県田浦郵候局長



海軍

横須賀海軍建築部長殿

局舎敷地、件 回答

對七月二十九日付横建第八号、一九五九番照

本件移轉先地坪、間敷、量表、田第三八号、以テ

御要求セシ範圍ヲ必要トシ其坪數ハ、御表示ノ通り

八坪一坪余正當ニ付御了知相成度

是テ電話御申越ニ係リ、箇面別紙添付致候

横建第八号、一九五九番

甲
三

0195

海軍

大正十三年七月二日

横須賀海軍建築部長

水雷學校長

工 廠 長 宛 達 記

田浦郵便局長 宛 件

本件ニ付別紙田第三八號ヲ以テ田浦郵便局長ヨリ
申出アリ先以テ貴校廠ノ御意向兼知致度

右照會ス

遙テ御参考ニ關係書一括添付候条御回答ノ際迄
却相成度候

了

横須賀海軍建築部長 宛 件

乙 号

0196

神奈川縣三浦郡田浦町田浦遺跡発見
位置圖



面積計算

符号	算式	面積
1	$9.0 \times \frac{1.7}{2}$	6.300
2	$10.0 \times \frac{1.6+2.6}{2}$	21.000
3	3.6×0.6	1.080
4	$9.6 \times \frac{4.0+2.2}{2}$	33.600
5	$6.0 \times \frac{3.8+2.6}{2}$	19.200
計		81.180

0197



水校第ニ號ノ三四ノ二

大正拾參年七月五日

海軍水雷學校長

横須賀海軍建築部長殿

田浦郵便局敷地ノ件

横建第ノ辨ノ九五ノニノ以テ海軍會ノ本件ニ對シテ郵
 便局カ圓示位置ニ移転セハ本校トシテハ多數ノ郵便
 物ノ送受ニ甚ク好都合ト認メラシ候
 右圖ニ示ス

横建第ノ辨ノ九五ノ二

水

海軍

0198

乙
号
三

寫

横廠建基四三號ノ云

大正拾參年七月十九日

正木横須賀海軍工廠長

稻葉横須賀海軍建築部長殿

西浦郵便局敷地ノ件

又月二日横建基八號ノ九五ノ六ノ以テ時照會ニ付

當廠意見無之

右回ニ付

関係書一摺添附

横建基八號ノ九五ノ八

終

海軍

0198-7

寫

横建第八號、一九一二年

大正十三年八月十一日

横須賀海軍建築部長

田浦郵候局長宛

郵候局舎敷地一件

本件ニ付本月五日庚第三四五號ヲ以テ回答ノ
趣ヲ兼右坪數希望ナレハ差支リキ見也尤モ左記
条件ヲ附シ當参考謀長ヨリ其筋一回答相成候
答ニ就テハ異存無之候哉
右為念照會ス

記

丙号

0199

一、田浦所池ノ各戸敷地ハ約八十一坪余

二、期間ハ海軍義諾ノ目ヨリ三ヶ年間

三、期間中トモ必要トナリハ移轉又ハ撤去ヲ請求

セザルコトアルニシ

四、移轉又ハ撤去ノ際ハ敷地ハ復旧スルコト

五、敷地前面下水沿石垣ノ維持保存ニ関シテハ借用

区域ハ使用者ノ負担スルコト

六、郵便局設置ニ付シ出入ノ為メ下水ニ蓋其他加

工スル場合ハ建築部技員ノ立會ヲ求ルコト

0200

丙
13
2



田
第
三
五
五
號

大
正
十
三
年
八
月
十
二
日

田
浦
郵
便
局
長



海
軍

横
須
賀
海
軍
建
築
部
長
殿

局
倉
敷
地
一
件
回
答

八
月
十
日
付
横
須
賀
第
八
号
ノ
五
五
一
二

右
御
来
照
一
趣
了
美
濟
来
未
一
條
件
ニ
付
シ
異
存

無
意
ニ
付
由
諒
知
相
成
度
矣

統

横
須
賀
第
八
号
ノ
五
五
一
二

0201

軍第二〇八號ノ三

軍務局長

第一課長

建築局長

局員

大正十三年五月三日

發布済

軍務局長

横鎮参謀長宛

田浦郵便局敷地継続使用ノ件

本件ノ関シ横鎮中七二〇号ノ二ヲ以下指回答ニ接シ

候處郵便局移轉先ノ関シ地方郵便官署ト内協

通候

議ヲ函ケテ上何カノ義相成様致度

左照會ス

指回示

宇佐川少将

海軍

横造半葉十三行野紙

建簿 13.5.30 接發

5-26

0202

横鎮第七二〇號

大正十三年五月九日

軍務局

第一課



寺岡横須賀鎮守府參謀長

宇佐川少將

林海軍省軍務局長殿

田浦郵便局敷地繼續使用ノ件

本件ニ付軍第二〇八號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ長浦購買所ニ充當致度希望ニ付該郵便局ハ別圖駒寄官舎脇空地ノ一部ヲ移轉セシ

局長



局長

右回答ス

別紙位置圖添

軍第二〇八號

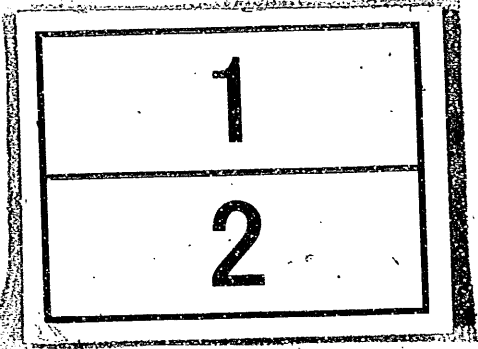
海軍

電務局一課

020748.5.24



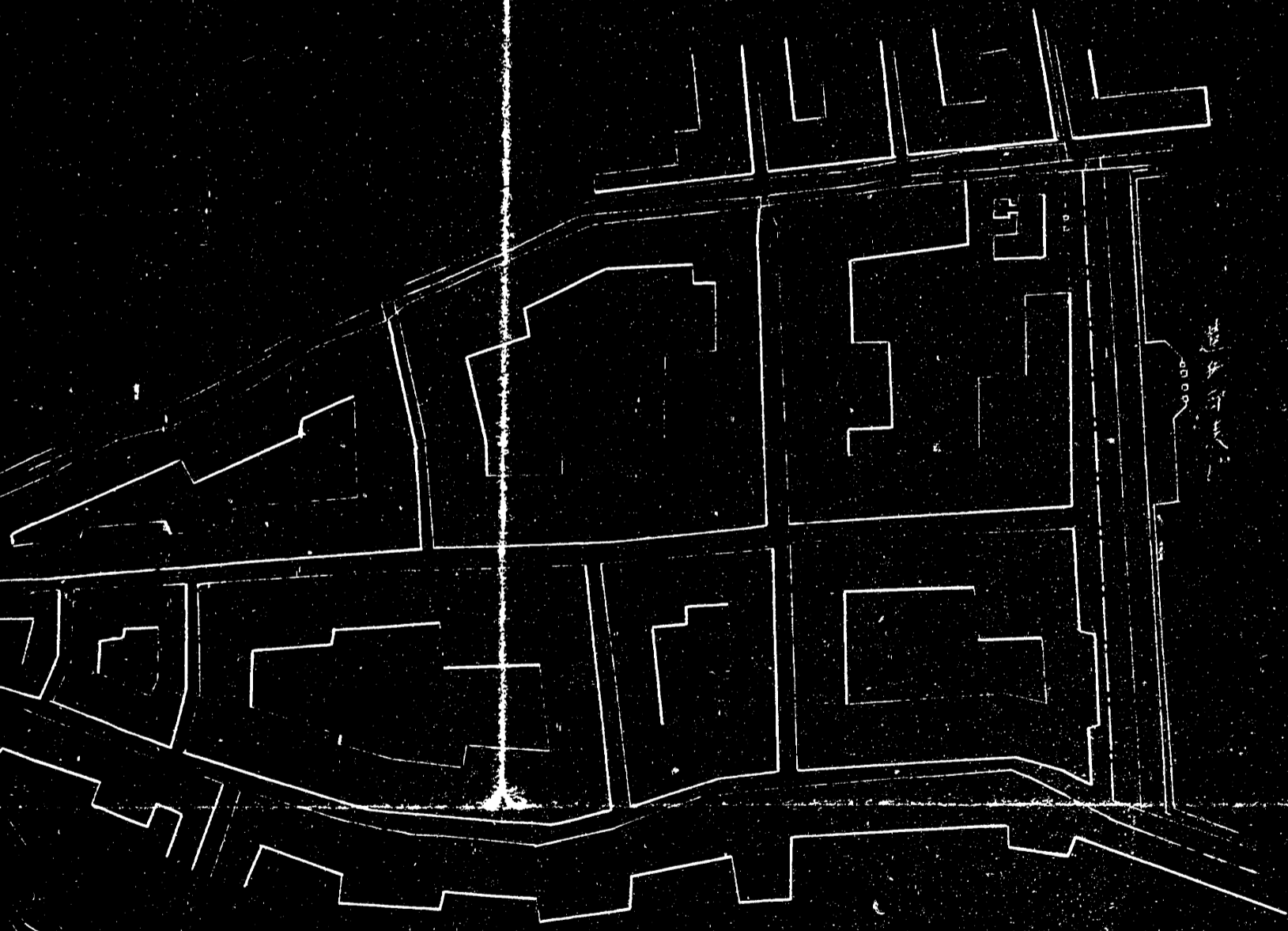
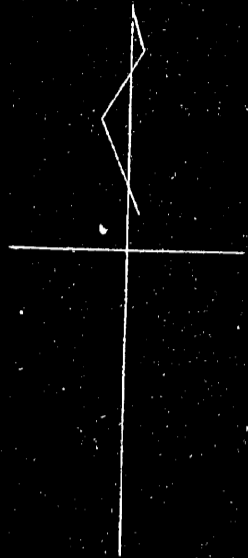
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

神奈川縣三浦郡田浦町位置圖

0204
0205

錦久千二百五十二





軍第二〇八號

軍務局長

第一課長

局長

局長

大正十三年四月十六日

發布

軍務局長

横鎮參謀長宛

田津郵便局敷地继续使用之關スル件

本件之關シ逋信大臣ヨリ別紙ノ通照會有之候ニ付
予ハ先以テ貴府ヨリ意見承知致度

左照會ス

追テ貴地ニ於テハ決敷地ヲ長津購買所敷

海軍

横濱半葉十一行録紙

4-16

0206

地之充當致度希望ノ類ニ類候處郵使官廳ノ位置
等ニ就テハ海軍トシテモ相當考慮ヲ要スル次第ニ

付早急撤退ヲ迫ルモ穩當ナラサルヤノ感モ有之如也

申添候

(印)

購買所ノ敷地ニサルニトナラシ御便局ニ對シテハ海軍トシテ密接
ノ地方的事情モアルヘリ隣郵便局甚ニ他通信官廳ノ好意ヲ
要スル件モ存在スルトニ付予備交渉ナリ断然繼續使用方
ヲ拒絶スルハ官廳同ノ仕事トシテモ不穩當ナリト思ハル
是昨購買所ノ必要ナラハ更ニ短期(一年位)ノ使用ヲ認メ置キ一

海 軍

横道平葉十一行留紙

方格郵便局格替ニツキ 穩ニ交渉ヲ進ムルヲ以テトシテキ意見
ナリ

右ノ趣電報ヲ以テ横鎮參謀ニ申入ルニトテ致度



海軍

0208

起案野紙

大正十三年五月六日起案

起案者 除印

五月十三日發付

發付者 除印

發付後起案者 除印

13.5

3.5.8

中嶋

主務 建築局長 局員

大臣

次官

參事官

副官

藤田

經理局

馬

第二課長

田

高木

軍務局長

田

第一課長

塩澤

局員

前田

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
													五月十三日	受月日 發月日

大正十三年五月十三日

舞要司令官

舞要第二一號ノ七三帝國電燈株式會社山陰支社長出願官舎敷地一部

號番

一三二九

毎

巨

0209

有償繼續使用ノ件認許ス

添

封

終

0210

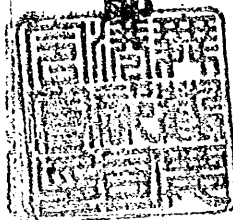
建築局

舞鶴要港部 二一號 七三

大正十三年五月一日

舞鶴要港部司令官百武三郎

海軍大臣 村上格一殿



海軍用地ノ一部使用許可ノ件

大正三年五月官房第一二四九號ノ五訓令京都府知事ヲ大阪電燈株式會社ニ使用ヲ許可セシ當要港部官舎敷地ノ一部使用期限ハ本年三月末ノ處事業繼承者帝國電燈株式會社別紙ニ通繼續使用ノ儀出願候ニ付取調候處當部官舎ニ電燈供給上必要ニ付別紙命令書ヲ下付シ更ニ許可致度候條御認許相成

官房第一二四九

五月五日 官房



0211

度

右申す

追々本件事業ハ大改電燈株式會社ヲ舞鶴
 電氣株式會社ハ讓渡シ以テ同社ト三丹電氣
 株式會社ト合併シ更々又云丹電氣株式會社
 ト帝國電燈株式會社ト合併シ帝國電燈株
 式會社ニ於テ經營ノモトニ有之候条爲念副申ス
 (願書寫ニ命令書案評定價格調書目面各一通譯)

0212

命令書

東京市京橋區木挽町九丁目拾壹番地

帝國電燈株式會社

第一條

海軍用地ノ使用ヲ許可スル位置ハ京都府加佐郡新舞鶴町及中舞鶴町所在海軍用地内ハ一部面積九坪貳合五勺ニシテ願書添附ノ圖面ノ通りトス

第二條

使用ノ目的ハ電柱建設ノ為トス

第三條

使用期間ハ自大正十三年四月一日至同二十三年三月三十一日拾個年トス

第四條

使用料金ハ壹個年ニ附金四圓六拾貳錢トス
海軍省主計部
海軍省主計部告知ニ依リ指定日限ニ納付スヘシ

第五條

當要港部ノ許可ナクシテ使用ノ目的ヲ變更シ又ハ使用權ヲ讓渡シ若シハ擔保等ヲ供スルコトヲ得ス



西村 納

0213

第六條 本土土地使用ニ關係シ他ニ障礙ヲ及ホレ又ハ反ホサントス

ルコトアラハ使用人ヲシテ除去又ハ豫防ヲ為サレムルコトアルニ使用人ニテ急ニメルトキハ官ニ於テ施行シ其費用ハ使用人ヨリ徴収ス

第七條 官ニ於テ必要ト認ムルトキハ使用期間中ト雖モ本命令書ノ條項ヲ變更シ又ハ使用ヲ停止シ若クハ本許可ヲ取消スコトアルニ

第八條 使用人ニ於テ本命令書ノ條項ニ違背レ官ニ對シ損害ヲ與ヘタルトキモ賠償セシムルハ勿論本許可ヲ取消スコトアルニ

第九條 第七條第八條ノ處分ニ依リ損害ヲ生スルコトアルモ官ハ其賠償ノ責ニ任セス

第十條 使用權ヲ失ヒタルトキハ勿論使用期間満了又ハ使用人ノ都合ニ依リ使用止メ返地ハ場合ニ於テモ償個月以

内ニ使用人ハ工作物ノ一切ヲ除去シ原形ニ復シ其旨届出

若シ期限内ニ履行セサルトキハ官ニ於テ之ヲ施行シ

其費用ハ使用人ヨリ徴収ス

第五條

第七條第八條ノ處分ニ依リ使用權ヲ失ヒ又ハ使用

人ノ都合ニ依リ使用ヲ止メ返地ノ場合ハ既納使用料ハ還

附セサルモノトス

(終)

海 軍

評定價格調書

京都府加佐郡新舞鶴町地内

一海軍用地ノ内六坪七合五勺

今府内郡中舞鶴町地内

一海軍用地ノ内三坪五合

合計九坪三合五勺

此使用料壹個年金四圓六拾三錢

但壹個年壹坪一付金五拾錢

右評定候也

大正十三年四月一日

海軍省事務官 田中 義典



海軍

村田 納

0216

寫

舞第壹號

舞鶴要港部構内海軍御用地一部拜借期限

繼續御願

從來御許可、得建設致居候舞鶴要港部構内官
舎海軍御用地内、電燈柱、或拾五本支柱、參本支線
九本拜借期限本月限、滿了、處尚本年四月ヨリ
大正二十三年三月迄向、十七年間敷地拜借、義繼續
御許可被下度別紙調書並圖面相添此段願上
候

大正十三年三月二十五日

京都府天田郡福知山町字天田

西村納

0217

簿

帝國電燈株式會社山陰支社

支社長

佐々木富造



舞鶴要港部司令官

百武三郎殿

0218

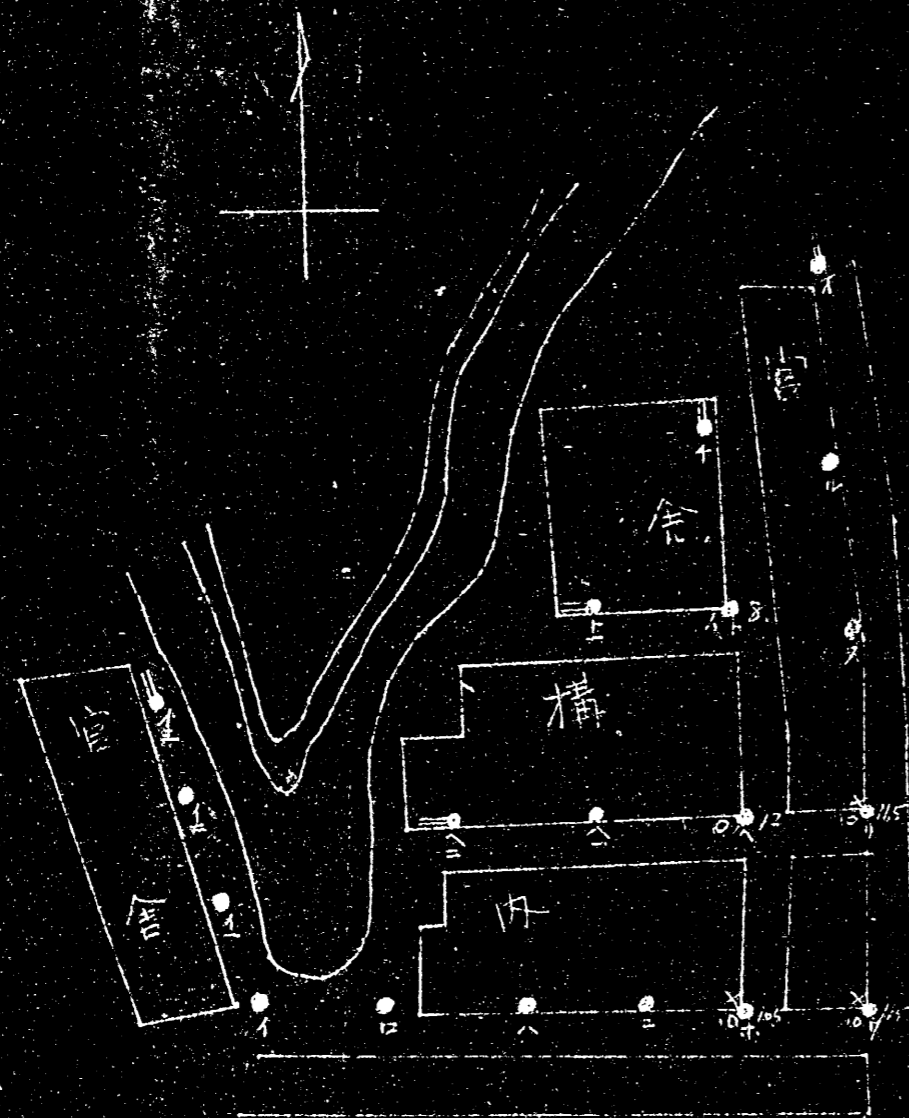
寫

合 計	海軍官舎地内	府左郡中舞鶴町	京都府加佐郡新舞鶴町	使用ノ位置	調 書
	全	全	大正三年五月二十日 指命第三六一九號	前許可年月日	
	二五	六	一九	柱	
	三	〇	三	柱	
	九三七	四一〇	五二七	支線 小計	
	九二五	二五〇	六七五	使用坪数	
			一ヶ所ニ合五勾ノ割	備考	

以
上

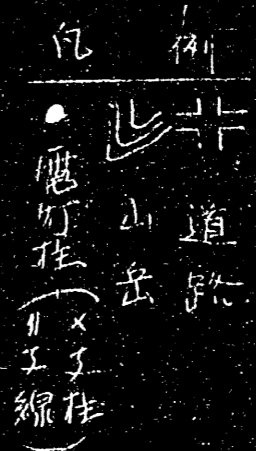
西
村
納

0219



新舞舞河川吸官舎構内
電燈柱建設位置圖

縮尺二千分一



備考
通中算用表下 電柱左右道設列中
二三管立三レ投之去 電柱者多り
本柱 十本
支柱 三本
支線 五條
計二十七本

0321

